

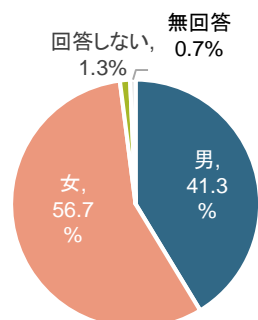
【調査概要】

期間 令和4(2022)年2月1日(火)～2月25日(金)
 対象 中学3年生以上の無作為に抽出した市民3,000人
 回答数 1,283名(回答率42.8%)
 設問内容

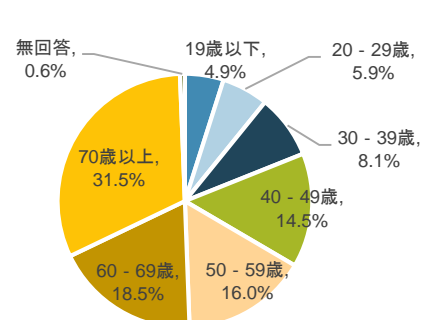
- I. 回答者の属性について(性別、年齢、職業、居住地)
 - II. 公演の鑑賞について(鑑賞の有無、回数、ジャンル、訪れた施設等)
 - III. 足利市内の公共施設の利用について(市民会館、市民プラザの利用状況等)
 - IV. 文化芸術活動について(活動の有無、活動場所、活動目的等)
 - V. 足利市外の公共施設の利用について(利用の有無、来訪した施設、理由等)
 - VI. 新しい施設に期待すること、必要なことについて(新施設に必要な機能、立地環境等)
 - VII. 足利市内の文化施設に期待することや要望について(自由回答)
- ※比率は、小数点以下第2位を四捨五入し、複数回答の設問も含まれるため、合計が100%にならない場合がある。

I. 回答者の属性について

1. 性別 N=1283



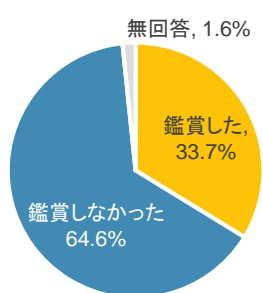
2. 年代 N=1283



1. 性別は、男性が約41%、女性が約57%
2. 年代は、若い世代ほど割合が少なく、人口構成に比例した回答数。60代以上で5割、40代以上で8割程度となっている。

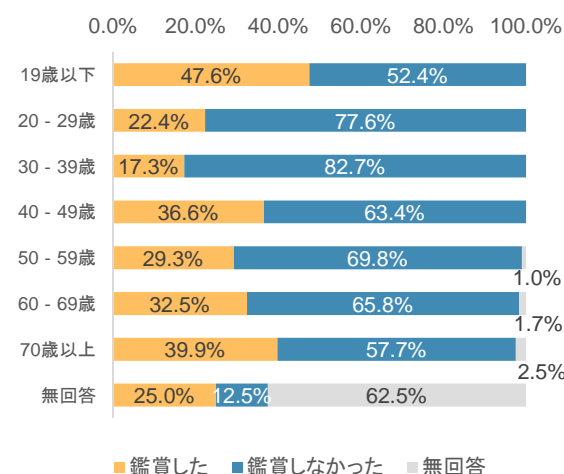
II. 公演の鑑賞について※新型コロナウイルス感染症拡大前の平成30(2018)年度

1. 鑑賞の有無 N=1283

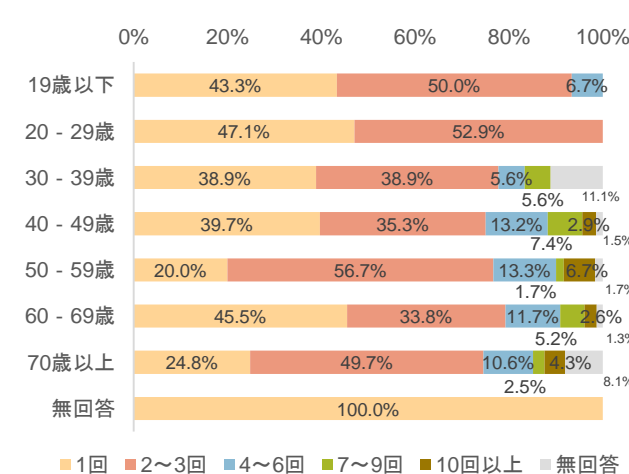


1. 鑑賞の有無は、約65%が「鑑賞しなかった」と回答しており「鑑賞した」は約34%だった。
2. 年代別では、「19歳以下」は学校等での利用もあり「鑑賞した」の割合が最も高い。20代、30代は他の年代と比較して「鑑賞した」の割合が低い。
3. 年代別では、50代、70代以上を除いて「1回」が4割程度と最も多い。40代以上は、他年代と比較すると、「4～6回」「7～9回」「10回以上」の割合が高く、鑑賞回数が多い傾向がみられた。

2. 鑑賞の有無×年代 N=1283

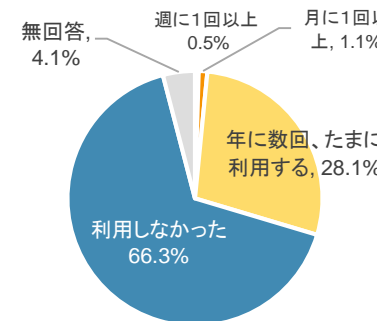


3. 鑑賞の回数×年代 N=1283

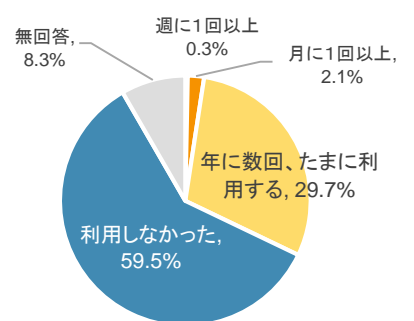


III. 足利市内の公共施設の利用について※新型コロナウイルス感染症拡大前の平成30(2018)年度

1. 市民会館の利用頻度 N=1283

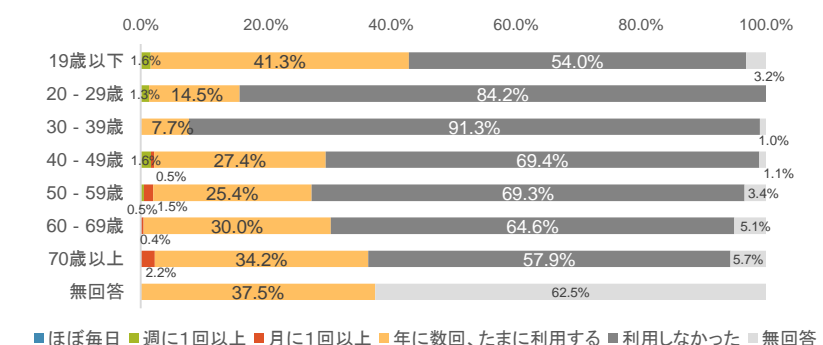


2. 市民プラザの利用頻度 N=1283



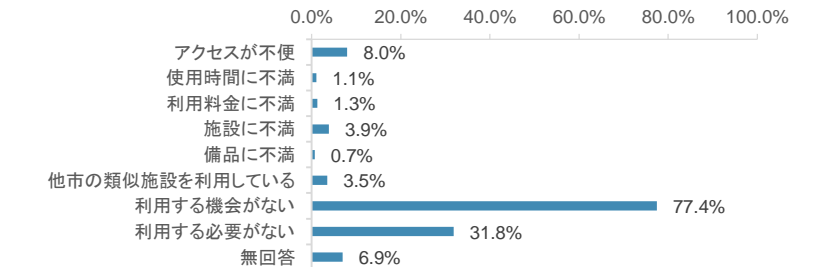
1. 市民会館、市民プラザとも「利用しなかった」が6割程度だった。「年に数回、たまに利用する」も3割程度であり、日常的に利用している人は少ないとみられる。

3. 市民会館の利用頻度×年代 N=1283



3. 市民会館の利用頻度×年代では、特に30代で「利用しなかった」が約91%と割合が高くなっている。「19歳以下」は学校利用等もあり、「年に数回、たまに利用する」の割合が他の年代より高い。

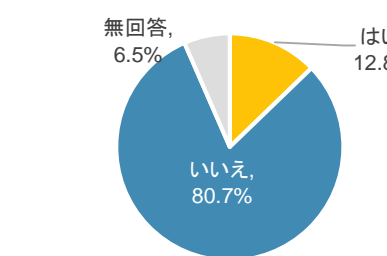
4. 市民会館を利用しない理由 N=851 MA=1146



4. 市民会館を利用しない理由では、施設への不満よりも、「利用する機会がない」が約77%と最も多く、次いで「利用する必要がある」が約32%と割合が高かった。※3. 4. は市民プラザでも同様の傾向がみられた。

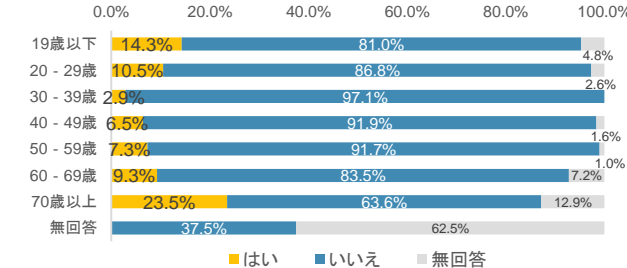
IV. 文化芸術活動について※新型コロナウイルス感染症拡大前の平成30(2018)年度

1. 文化芸術活動の有無 N=1283

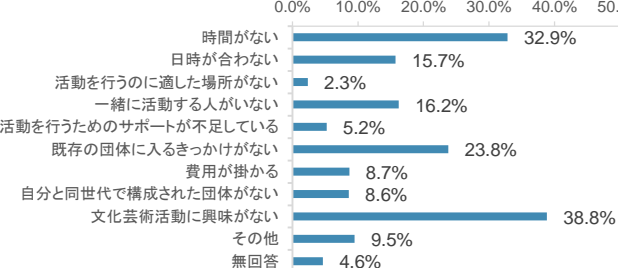


1. 活動の有無は、「いいえ」が約81%となり、新型コロナウイルス感染症拡大前においても、活動している人は少ない。
2. 活動の有無×年代では、特に30代～50代の働いている人が多い世代で「いいえ」の割合が高くなっている。「はい」の割合が最も高いのは「70歳以上」となっており、主に活動しているのは、高齢者であることがうかがえる。
3. 文化芸術活動を行わない理由では、「文化芸術活動に興味がない」が約39%、「時間がない」が約33%で上位を占めた。

2. 活動の有無×年代 N=1283

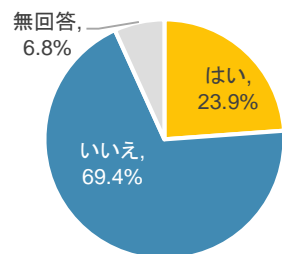


3. 文化芸術活動を行わない理由 N=1035 MA=1722



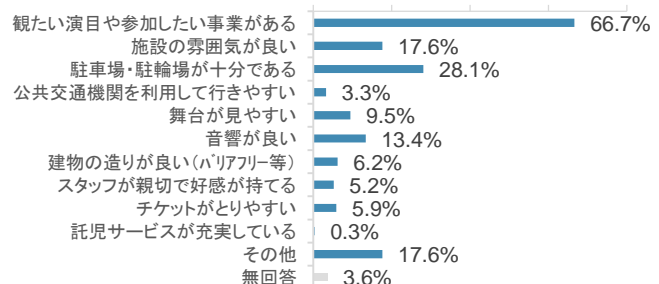
V. 足利市外の公共施設の利用について※新型コロナウイルス感染症拡大前の平成30(2018)年度

1. 利用の有無 N=1283



1. 利用の有無は、「いいえ(利用なし)」が約69%だった。
2. 訪問した理由では、「観たい演目や参加したい事業がある」が約67%と最も多く、次いで「駐車場・駐輪場が十分である」が約28%となった。**魅力的な演目や事業があれば市外、県外の施設へ足を運ぶ人がいることがうかがえる。また、施設を選ぶ際には、「駐車場・駐輪場」も重視されているとみられる。**

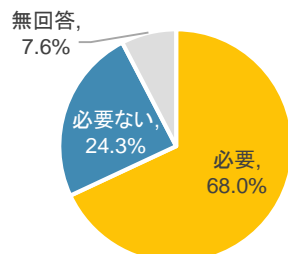
2. 訪問した理由 N=306 MA=543



- 具体的な施設名では、近隣の「佐野市文化会館」「桐生市市民文化会館」「太田市民会館」が多く挙げられた。また、両毛地域以外の施設では、「宇都宮市文化会館」「栃木県総合文化センター」「高崎芸術劇場」などが複数挙げられた。

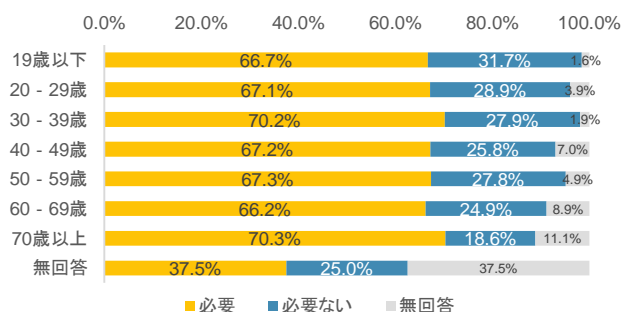
VI. 新しい施設に期待すること、必要なこと

1. 新しい施設の必要性 N=1283



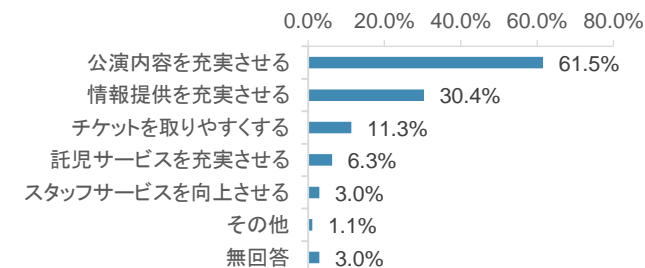
1. 新しい施設の必要性については、「必要」が68%だった。
- 「必要ない」の理由では、「既存施設で十分」が約97%、その他「興味がない」「公共である必要はない」などが挙げられた。

2. 新しい施設の必要性×年代 N=1283



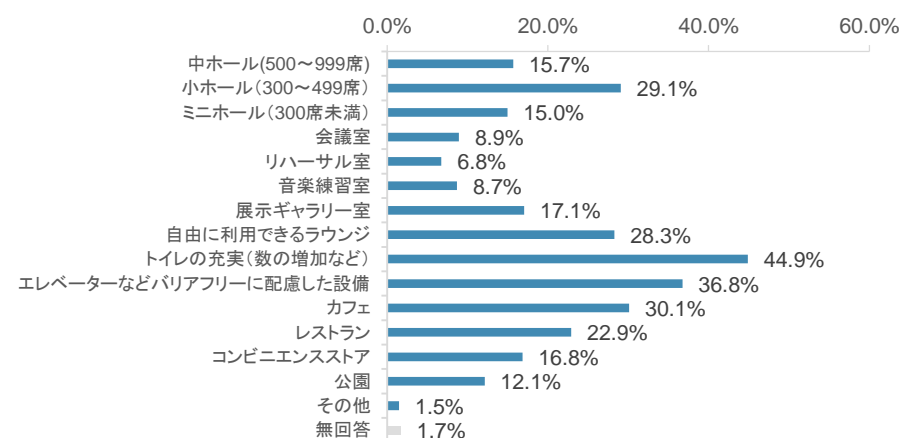
2. 新しい施設の必要性×年代では、若い世代も含めて、どの年代でも「必要」が7割程度を占めており、年代間での差はみられなかった。実際に利用している人は少ないが、施設自体は「必要」と考えている人が多いことがうかがえる。

3. 公演鑑賞について N=873 MA=1018



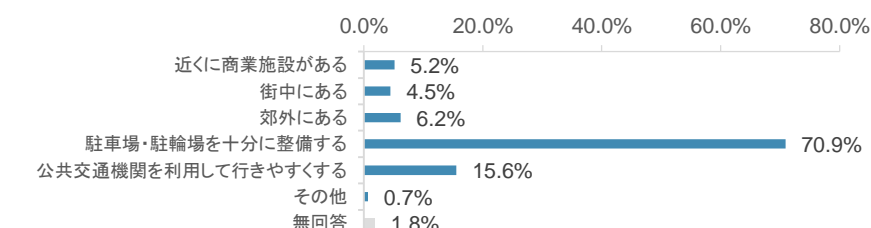
3. 公演鑑賞については、「公演内容を充実させる」が約62%と最も多く、次いで「情報発信を充実させる」が約30%となった。**新しい施設については、主に「事業内容」「情報発信」の充実が求められた。**

4. 施設機能について N=873 MA=2588



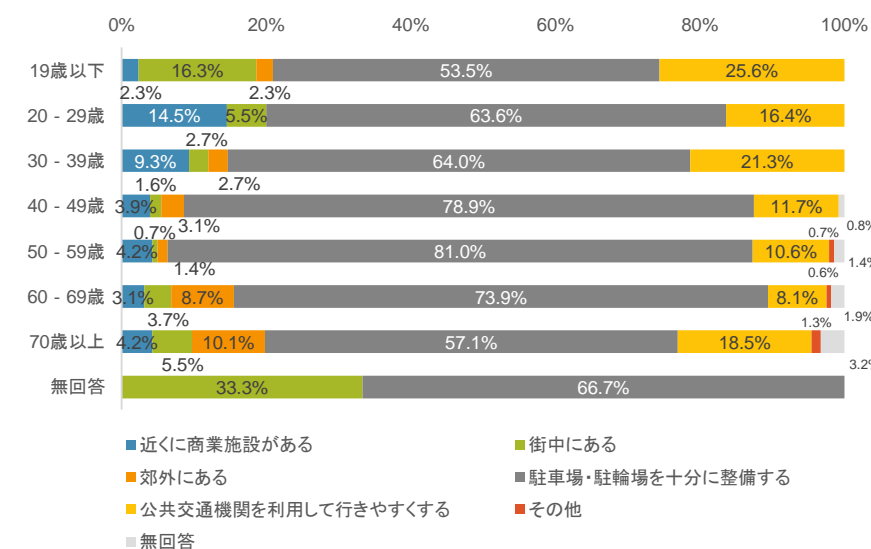
4. 施設機能では、「トイレの充実(数の増加など)」が約45%と最も多く、次いで「エレベーターなどバリアフリーに配慮した設備」が約37%と**施設全体の基本的な使いやすさが求められた。**ホールや諸室では、「小ホール(300~499席)」「自由に利用できるラウンジ」「カフェ」が3割程度、「展示ギャラリー室」が約17%と**大規模公演以外のニーズや鑑賞以外でも楽しめる機能も求められていることがうかがえる。**

5. 立地環境 N=873 MA=915



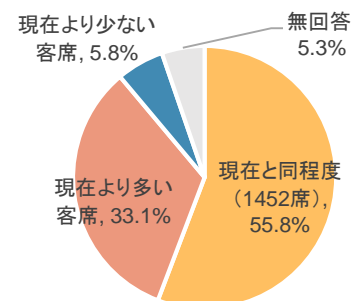
5. 立地環境では、「**駐車場・駐輪場を十分に整備する**」が約71%と最も多く、次いで「公共交通機関を利用して行きやすくする」が約16%となった。

6. 立地環境×年代 N=873

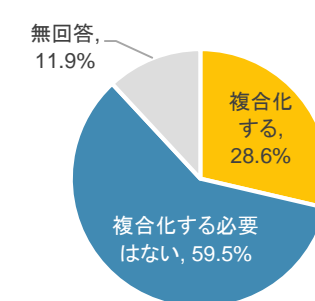


6. 立地環境×年代では、どの年代も「**駐車場・駐輪場を十分に整備する**」が多く求められたが、30代以下では、「**近くに商業施設がある**」「**街中にある**」「**公共交通機関を利用して行きやすくする**」の割合が比較的高い。公共交通機関でのアクセスの良さは、70代以上においても約19%を占めた。

7. メインホール規模 N=873



8. 複合化について N=873



7. メインホールの規模では、「**現在と同程度(1452席)**」が約56%と最も多く、次いで「**現在よりも多い客席**」が約33%となり、**少なくとも旧市民会館と同程度の規模が求められているとみられる。**
8. 複合化については、「**複合化する必要はない**」が約60%を占め、現状では、**複合化は必要ないという回答の方が多い。**